

170余年の歴史を持つ名門歌劇場が来日！
ロシアの情緒あふれる名作を上演。

レニングラード国立歌劇場オペラ

—ミハイロフスキー劇場—

最も文学的な美しい物語

叙情的で哀愁漂う、チャイコフスキーのメロディ！

ロシア青年貴族と
純朴な娘タチャーナの、すれ違う恋。

エフゲニー・ オネーギン

全3幕 日本語字幕付(ロシア語上演)
作曲:P.チャイコフスキー
原作:A.プーシキン
演出:S.ガウダシンスキー

2009

12/2 (水) PM6:30開演 **愛知県芸術劇場大ホール**
S¥20,000 A¥17,000 B¥12,000 C¥8,000 D¥6,000 学生¥3,000(税込)
主催：中京テレビ放送 企画・運営：中京テレビ事業

お問合せ 中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTVビル6F(旧有楽町ビル) (月~金 AM9:30~PM5:30 / 土・日・祝日休業)

学生券

ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお申し込み致します。

※出演者等変更になる場合がございます。予めご了承ください。未成年児童のご入場はご同様の場合でもお断り致します。

<http://cte.jp> ★インターネットからもお申込み頂けます!★

チケットぴあ (予約コード: 821-030) 0570-02-9999 イープラス eplus.jp
愛知県芸術文化センターPC 052-972-0430 ローソンチケット (ロード: 46264) 0570-084-004
崇光チケット92 (旧三井PG) 052-953-0777 中野サービスセンター(中野ビル) 052-263-7282 他

伝統ある名門レニングラード国立歌劇場が来日。 Санктペテルブルクが舞台のご当地オペラ、 文学的で美しい抒情性に溢れる「エフゲニー・オネーギン」を上演。

早朝、水車小屋の近く。辺り一面は降り積もった雪。青年貴族と若い詩人という親友同士が、今ここで決闘しなければならなくなった。「どうしてこんなことになってしまったのか!輝かしい青春の日々はどこへ行ってしまったのだ!」。オペラ『エフゲニー・オネーギン』の山場だ。

ロシアの文豪プーシキンの小説を題材にしたオペラ『エフゲニー・オネーギン』は帝政ロシア時代の Санктペテルブルクがその舞台。今回来日するレニングラード国立歌劇場オペラにとっては「ご当地オペラ」になる。二人のインテリ青年の厭世的な憂いと、若い姉妹たちの純朴さが織りなすこの物語は、チャイコフスキーの甘く切ないメロディーと劇的な音楽構成で、観る者を飽きさせない。決闘後、時を隔てて伯爵夫人となったタチヤーナと、親友を殺めてしまったオネーギンとの出会いの場面は、胸が締めつけ

られる瞬間だ。叙情的で豊かなメロディーが、この詩情あふれる文学的なオペラを盛り上げる。

レニングラード国立歌劇場(ミハイロフスキー劇場)がある Санктペテルブルクの美しい「芸術広場」は、ロシア美術館やフィルハーモニーホールなど芸術の殿堂が周囲を取り囲む広場で、そしてその中央には文豪プーシキン像がある。毎日、劇場を見守るプーシキン像の側で作り上げられた『エフゲニー・オネーギン』を、来日公演で観る事が出来るのは感慨深さを感じる。幾度となく来日し、公演の度に圧倒的な量感と真に迫った舞台で私たちに感銘を与えてきたレニングラード国立歌劇場オペラ。単にチャイコフスキーの名作を演奏するだけではない、プーシキンの悲恋物語をなぞるだけではない。「ご当地オペラ」以上の「思い入れ」がある今回の公演に期待したい。

濱田 貞行(評論家)

あらすじ

華やかな舞踏会や決闘。

ロシア文学の詩情溢れる世界へと誘う、叙情的なオペラ。

19世紀初頭のロシア。裕福な地方貴族として暮らす夢見がちな少女タチヤーナは、都会的で憂鬱な雰囲気を持つ青年オネーギンに恋をする。しかし彼は冷やかに拒絶して、戯れに彼女の妹オリガを舞踏会に誘ってその婚約者である友人レンスキーと決闘になる。数年後、美しく成長し伯爵夫人となったタチヤーナと再開したオネーギンの心は揺れ…。プーシキンの小説をオペラ化したチャイコフスキーの代表作。



レニングラード
国立歌劇場オペラ
The Leningrad State Opera

ロシアにおける文化、芸術の中心地 Санктペテルブルク(旧レニングラード)。同劇場は、170年余りの歴史を有しサモソド、コンドラシン、ザンデルリンク、テミルカーノフなどの偉大な歴代指揮者のもとで活動を行ってきた。また、プロコフィエフの「戦争と平和」、ショスタコーヴィチの「鼻」「ムツェンスク郡のマクベス夫人」などを初演した劇場としても知られている。さらに偉大なバス歌手シャリアピンもこの劇場で初演作品を数多く残している。同劇場の活躍は、アメリカ、フランス、イタリア、日本への公演活動とともに広く世界から知られ、各国から注目されている。

